

は じ め に

飛騨地域では、平成20年7月に東海北陸自動車道の飛騨清見ICから白川郷IC間が開通し、北陸方面へのアクセスが大変便利になりました。

今後、更に県内外からの観光客数の増加により、飛騨地域のさらなる活性化が期待されることと思います。

飛騨保健所としましても、関係者の皆様方と連携しながら「安心して生活できる地域づくり」のため、努力していきたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

昨年10月に第52回岐阜県公衆衛生研修会を当地において開催いたしました。

「岐阜県の公衆衛生活動」をテーマに掲げ、公衆衛生に携わる職員の方々が日頃の活動の中での検討課題や事例等を発表する機会といたしましたところ、県内各地より多数の皆様の参加をいただき、活発な議論を行う中で、大変意義深い研修会とすることができました。

ここに改めまして、心よりお礼申し上げます。

さて、飛騨圏域の保健衛生の概要をまとめた「飛騨圏域の公衆衛生」につきまして、平成19年度統計版を発刊させていただきました。

本冊子の歴史は古く、旧高山保健所においては、飛騨公衆衛生協議会のご支援のもと、約45年前の昭和39年8月1日に「飛騨の公衆衛生」という名称で創刊されました。また、それ以前には、昭和30年に旧高山保健所より「公衆衛生要覧」という冊子が発刊されています。

同様に、旧益田保健所においては、益田公衆衛生協議会のご支援のもと、「益田の公衆衛生」が発刊されました。

「飛騨の公衆衛生」と「益田の公衆衛生」の発刊は、旧高山保健所と旧益田保健所がそれぞれ別の保健所であった平成11年度まで続き、平成12年度の県組織の再編により飛騨地域保健所となって以降、今日まで「飛騨圏域の公衆衛生」として毎年発刊する運びとなっております。

本冊子を業務の参考として広く活用していただければ幸いです。

平成21年3月

飛騨保健所長 小窪 和博